

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 下京東部地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【営業時間と勤務体制】

月曜から金曜日の9時～17時まで営業（休業日：土・日・祝日、年末年始）

※休業日は、事務所に設置された留守番電話からの転送で要件に対応し、24時間体制を確保している。

【サービス向上の主な取り組み】

地域高齢者からの相談に対しては、相談記録を作成し、職員間で共有後に対応を行う。支援困難事例については、個々の職員で判断せず、毎朝のミーティングに職員全員で検討し、援助の方針や対応を決定している。相談者の情報は、総合相談、権利擁護、介護保険関係等すべての相談者の情報をパソコンでリスト化し、一元的に管理している。また、介護予防支援事業の実施にあたり、全職員が「自主点検表」を用い、介護予防支援のプロセスや法令順守の確認を行っている。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

担当地域の高齢者の相談窓口として周知を図っている。学区社協主催の健康すこやか学級や地域の方々が集まるイベント（祭り、運動会、防災訓練等）には積極的に参加している（令和6年度は自主事業であるラジオ体操などを含め241回活動）。全戸訪問事業については、実態把握が困難な高齢者については、消防や地域役員と共に訪問し、訪問率の向上、早期発見対応につながるよう取り組みをすすめた。また、地域と住民、地域と福祉事業所がつながれるよう意識した活動を展開した。その他、地区医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を通じ、医療と福祉の顔の見える関係づくりにも努めている。

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

【職員体制】

センター長1名（主任介護支援専門員と兼務）

保健師1名

社会福祉士1名

介護支援専門員1名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

第3者への委託は行っていない。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

1420 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

2311 件

(3) 収支実績

ア 令和6年度収入状況（単位：円）

委託料	21,440,200
介護保険収入	7,091,764
その他	415,516
収入計	28,947,480

イ 令和6年度支出状況（単位：円）

人件費	18,915,169
事業費	805,736
委託費	998,015
小額修繕費	25,900
その他	422,109
支出計	21,166,929

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

介護保険サービス利用者についてのアンケート実施

(2) 利用者満足度把握の結果

介護保険サービス利用者に対して行った利用者アンケート（回収率80%）では、相談員に必要な相談を出来ているかなどの内容について、90%近くの方が「満足である」とのご意見であった。また、毎月ご自宅やサービス事業所への訪問、電話等にてモニタリングを行い、サービス利用やその方の生活状況の確認を行っている。その際に地域包括支援センターへの希望や意見なども適宜伺うようにしている。

(3) 意見等への主な対応状況

ご利用者から意見や要望があった場合には「意見・要望など連絡票」を作成し、全職員にて内容を検討し、結果をご本人に返答させていただいている。

7 評価（指定管理者自己評価）

あらゆる世代において単身化が進んできている中で、様々な仕組みが家族・親族による自助を前提としていることとの齟齬が、単身生活への困難さの要因の一つにつながっていると感じられる。障害のある方自身の高齢化、障害のある子と同居する高齢家族など、高齢分野と障害分野の連携が必要な事例があるが、行政も含めた支援や連携体制のさらなる整備が必要であると感じる1年であった。地域ケア会議においては、こういったことに着目し、「高齢者で医療理解が乏しい患者へのアプローチや適切な内服管理の方法について」「つながる・ささえる・みまもる～地域の活動から考える重層的支援体制整備事業」をテーマに検討。崇仁すくすくセンタープロジェクトへの協力や学生と地域をつなぐ活動にも積極的に取り組みをすすめている。地域課題を常に意識し、活動を展開。人権研修などにも多く参加している。